

周期性四肢運動障害



過眠症の原因として周期性四肢運動障害があるようですが、症状や原因など詳しく教えてください。



周期性四肢運動障害とは、睡眠時に脚と手に

数秒ほどの周期でびくびくした動きや素早く跳ねる症状が出て、睡眠が妨げられ、昼間に強い眠気を生じる過眠症の原因の一つです。睡眠時は、脊髄から四肢を動かす活動が脳によつて抑制されますが、その抑制が十分に働かないためといわれています。また、起きている時は自覚症状がなく、睡眠中の症状で覚醒しても、その症状に気が付かないことも多いので、いつの間にか睡眠が妨げられます。中高年に多く、



安定剤の服用や、カフェインなどの刺激物、鉄欠乏症や貧血、糖尿病や肝腎障害などのある方などは、むずむず脚症候群と要因が似ているので、治療も似ており、症状を併発することもあります。確定診断には睡眠時ポリグラフ検査が必要です。まずはお気付きのこと。睡眠中に症状が手も足も出ることに本人か誰かが気付けば、診断や治療は手も足も出ないことはないですから。

朝倉病院
理事長／院長
田辺 裕久さん